

チーム『民』 設立宣言

私たちは、“民”(たみ:老若男女、生活者、市民、庶民)として、ここに宣言します。I

基本的人権を保障し、誰もが自立でき、そして誰もが社会の構成員であると自覚する社会、あらゆる政治の意思決定プロセスに参画し、社会的責任を担い、他者と共生できる、公正で持続可能な社会を実現するために、政策グループ:チーム『民』を設立します。

2007年の漢字一文字は偽“であった様に、今の日本は、これまで信じられていたものが、ガラガラと音を立て崩れ落ち、明確なビジョンもなく、未来への希望をもてずに、ただ荒波の中をさまよう泥舟に乗っている状態ではないでしょうか。

増え続ける国・地方の借金、あらゆる分野での偽装による信用の崩壊、政・官・業の癒着による税金のムダ遣い、広がる格差による貧困世帯の増加、減らない自殺者数、崩壊寸前の社会保障制度、等々…。これらは氷山の一角にすぎず、問題を挙げればきりがありません。

さらにグローバルな視野で見れば、温暖化による地球環境の危機なども迫っています。

以上の様に、日本と世界は未曾有の危機にさらされており、問題を先送りする余裕など、どこにもありません。

なぜ、このような状況に陥ったのでしょうか？

これは皆さんも既に気づいているのではないのでしょうか。

各人が、自ら住まう地域、日本の過去・現在・未来を他人任せにしてきたからだということ。

その結果、政治家や行政が、その場しのぎの政策や、えこひいき政治(既得権益に偏った政治)を実行し続けたのです。

では、どの様にこの状況を打開すれば良いのでしょうか？

各人が、これまでの“他人任せでも何とかなる”といった意識を捨て、地域・日本、そして世界の未来を自ら考え、行動することが、状況を打破する唯一無二の手段であると、チーム『民』は考えています。なぜなら、公的サービスの原資は“民“が託す税であり、民主政治においては、“民“が税の集め方と使い方を知り・考え・決めることが前提であり、政治の失敗の代償を負担するのも“民”自身であるからです。

見方を変えれば、最大のチャンスと言えます。

ピンチのときほど、人は知恵と力を振り絞り、苦境を脱することができるのです。

チーム『民』は、“民“が税の集め方と使い方を知り・考え・決める社会、誰もが自己実現と社会貢献を両立できる社会、個性・多様性を尊重する平和社会を、目指し行動します。